

特集 平成 25年飛躍の年!!



写真は藤原小学校・幼稚園の子どもたちが作ったジャンボ年賀状



協働で育む元気、発展のひじ町

日出町長 工藤 義見

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆さまにおかれましては、平成25年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、平素より町政運営に、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、尖閣諸島問題など近隣諸国との関係悪化やエネルギー問題など、多くの課題が顕著になり、日本を取り巻く社会情勢は非常に不安定なものでした。また、長引く円高やデフレスパイラルからの脱却もままならない一年でした。

そうした中、昨年末に衆議院議員選挙が行われ、政権が交代し新しい内閣が誕生しました。新内閣によつて将来を見据えた政治が行われ、国民が希望に満ちた未来を描ける国になるものと期待しております。

日出町におきましても、「人を大切にすまちづくり」を念頭において、皆さま方が安心して暮らせるまちづくりを推進しております。

特に昨年は、東日本大震災を教訓に、日出町防災計画の見直しを行うほか、防災行政無線の整備や学校施設の耐震補強事業など、住民の安全安心対策に重点をおいた施策を行つてまいりました。

今後も引き続き安全なまちづくりを推進するとともに、教育や医療、福祉を強化し、暮らしやすい環境の整備を多角的に進めてまいります。

平成25年度の当初予算編成方針では、①雇用とくらしの安定確保②子育て・教育環境整備の推進③地域活性化と資源の有効活用④安心安全・環境エネルギー対策の4項目に重点を置いた施策を推進するように指示をいたしております。

4項目に重点を置いた事業実施には、既存の概念から脱却し、新しい事業にもチャレンジする必要があります。厳しい財政状況ですが、市町村合併をせずに単独の町を選択して以来、事業の見直しや職員定数の縮減などの行財政改革を推し進めてきた結果、着実に財政状況は安定してきており、真に

必要とする事業を実施することが可能となりました。

未来を担う子どもたちの「夢」や「希望」を育むためにも、高齢者が地域の中で生きがいをもって毎日を過ごすためにも、地域コミュニティの活性化を図り、町民の皆さまが、生き生きと生活できる環境整備を推進します。

また、まちづくりには、町民の皆さまの力をお借りすることが必要です。町民と行政が相互理解と信頼の下、目的を共有し、連携・協力して地域の公共的な問題の解決を目指すことによつて日出町らしいまちづくりができます。

日出町には、県中央部という地理的条件の良さと、豊かな自然、そして、誇るべき歴史・文化が残っています。この資源を活かしたまちづくりを中長期的な視野に立つて行うことによつて、活力みなぎる日出町を形成し、魅力あるまちづくりを推進してまいります。

最後になりますが、どうか本年が皆様にとりまして良い年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



開かれた議会・信頼される議会を目指して

日出町議会 議長 佐野 故雄

新年明けましておめでとう
ございます。

年頭にあたり、日出町議会を代
表して、謹んで新年のごあいさつ
を申し上げます。

皆さま方には、ご家族おそろい
で健やかな新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。また、平素
より議会に対しご理解とご協力を
賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国内の動向では、円高・
デフレが続く、経済・雇用情勢は
引き続き厳しい状況にあります。
社会に閉塞感が漂う中、雇用や税
収を増やしていく経済の活性化策
が政治に強く求められています。
29年ぶりに師走の執行となった
先の衆議院議員総選挙は自民党の
圧勝となりました。積み残された
内外の課題をすみやかに解決して
いただきたいと思えます。

また、昨年の日出町の出来事を
振り返ってみますと、1月に
は日本テキサスインスツルメ
ンツ日出工場の閉鎖が突如発
表され、町民の皆さんも驚き
と不安を覚えたことと存じま
す。6月には閉鎖が予定され
ているとのことで、残念でな
りません。

明るいニュースでは、整備中の
陽谷高校跡地に進出したケーズデ
ンキに続き、3月には亀の井ホテ
ル大分日出がオープンしました。

今後、陽谷駅周辺の整備計画
の早期完成が望まれるところで
す。8月には工藤町長の無投票3
選が決まり、併せて町議会議員の
補欠選挙も行われ議員定数の16人
に戻ったところです。10月には公
共交通空白地域の解消のためのコ
ミュニティバスが運行されまし
た。

議会を振り返ってみますと、8
月に水道水源を守り、快適な住環
境を維持するための条例改正や整
備について弁護士を交え初めての
勉強会を開催し、産廃処分場等を
町独自で規制するためには、どう
すればよいか議論しました。今後
も、継続して調査研究を行ってま
いります。

また、「議会改革調査特別委員
会」を設置し、町民の皆さまに「開
かれた議会、信頼される議会」を
目指して現在検討・協議を重ねて
おります。協議が整ったものから
順次、皆さまにご報告したいと考
えております。

日出町は、今後も人口が増加

し、住んでみたい町として、さら
に発展していくものと確信してお
ります。議会といたしまして、も
活力のある豊かなまちづくりに向
けて、一層の努力を重ねてまい
る所存でございます。

どうか本年も変わらぬご支援、
ご協力を賜りますようお願い申し
上げますとともに、皆さま方のご
健勝とご多幸を心からご祈念いた
しまして、新年のごあいさつとい
たします。

謹賀新年

日出町議会

議長 佐野 故雄
副議長 安部 三郎
議員 笠置 久夫
佐藤 克幸
城 美津夫
佐藤 二郎
熊谷 健作
佐藤 隆信
白水 昭義
後藤 佑
森 昭人
田原 忠一
工藤 健次
藤井 博幸
池田 淳子
土田 亮治

平成25年飛躍の年!!

日出町には、健康づくりのため、
あるいは競技としてスポーツに
取り組む方が多くいます。

また、地域住民を対象とした
スポーツ行事やイベントも多く、
スポーツに触れ合う機会が多い
町です。



© canon

今回の特集では、第一線で活躍する日出町出身の
選手にお話を聞き、日出町の思い出や、今後の目標、
そして日出町の子どもたちへのメッセージをいただ
きました。



© 2012 S.D.CO.,LTD.

© SEIBU Lions

写真提供：(株)西武ライオンズ / キヤノン(株) / (株)サガン・ドリームス



埼玉西武ライオンズ 投手29

小石 博孝 選手
(大神真那井出身)



©SEIBU Lions

昨年、西武ライオンズにドラフト2位で入団した小石選手は、昨年11月6日～12月25日の間オーストラリア・ウインターリーグに参加していました。試合中にもかかわらず、日出町の皆さんにメッセージを送ってくれました。

ーメッセージ

初めまして埼玉西武ライオンズの小石博孝です。僕はプロに入る前にこの町報に載せて頂いたことがあるのですが、またこういう形で載せていただけるとても光栄です。

僕は日出町の大神で18年間過ごし、大学から上京をしました。小学校で野球を始めて、ここまで野球を続けてこられるとは思っていませんでした。でもプロ野球選手になるのが小さい頃からの夢であったので、いつか叶えてやるという気持ちで、日々、野球に取り組んでいました。

昨年はプロ1年目で、初登板・初勝利・初敗戦など初めてのことをたくさん経験することができた年になりました。

今年も沢山の事を経験すると思いますが、後悔することがないように日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。

今日、僕を知っていただいた方はこれから、以前から知っていただいている方は今まで以上に、応援よろしくお願ひします！



キャプテンの宮下純君(前列右から2番目)と5年生の選手たち

小石選手への応援メッセージ

「日本一のピッチャーになってほしい。そしてWBCにも出て活躍してください」
小石選手が、小学生の頃に所属した大神少年野球クラブの練習におじゃましました。同クラブは、今年創部30周年を迎えます。小石選手は14期の選手だといえます。この日は、6年生が引退し、5年生が練習を引っ張っていました。プロ野球選手になりたいと言う子どもたちは、小石選手に実際に会ったこともあり、プロへの夢をふくらませています。

ベースボールクリニック開催

元読売巨人軍の吉村禎章氏さだあきと宮本和知氏が、子どもたちに守備やバッティングの練習方法や心がけを指導します。

当日は、指導者のおふたりに直接、疑問に思っていることを聞く質問コーナーもあります。参加費は無料です。

日時：1月20日(日) 14時～17時(13時45分集合) 定員：小学生100名(参観者の制限はありません)

場所：ホテル・ソラージュ大分・日出

■申込・問合先 生涯学習課 ☎72-3156



キヤノンイーグルス PR3

城 彰 選手
(豊岡辻間団地東出身)

キヤノンイーグルスに所属し、ラグビー選手としてトップリーグで活躍する城選手は、現在2012～2013シーズンのリーグ戦で各地を転戦の忙しい中、取材に対応してくれました。



―日出町での思い出は？

自然豊かな日出町で、のびのびと色々な遊びをして過ごした日々が、僕のラグビー選手としての基礎を作ってくれました。

小学校の頃は団地西公園で野球、中学校では陽谷高校跡地でサッカー部員としてサッカーに明け暮れていました。豊岡と玖珠町森地区との交換キャンプも良い思い出です。豊岡では地引網などを、森では山登りなどを楽しんだ事が思い出されます。

日出町の味といえば、やはり「ふれんど」のお好み焼きです。僕が母のお腹の中にいる時から食べていた味です。父母も5人の兄弟達も家族みんな「ふれんど」のお好み焼きが大好きです。今でも日出町に帰った時には、必ず訪れて、懐かしい味を堪能しています。

―今年の目標を教えてください。

個人としては、やはり「日本代表」になることです。

キヤノンイーグルスは、昨年をはじめトップリーグに昇格しましたが、トップリーグの選手達、とくに日本代表クラスの選手達はやはりすごい選手ばかりです。昨年トップ

リーグで戦う中で感じた自身の課題を、今年はひとつひとつ克服して、そうした素晴らしい選手達に追いついていきたいと思っています。

そのためには、好不調の波が無い、安定したパフォーマンスを発揮できるようにトレーニングしていかなくてはなりません。筋量を増やし、ワークレイト（運動量）を上げていきたいと思っています。

―日出町の子どもたちへメッセージをお願いします。

自分が一番好きなことをやって欲しいと思います。日出町にはそれを可能にする素晴らしい環境が揃っています。

僕の場合、それは体を動かす事でした。日出町の自然の中で、サッカーや野球、ソフトボールに水泳そして綱引きなど、色々なスポーツを好きになだけやりました。その積み重ねがあったからこそ、今僕はラグビー選手としてプレーできているのだと思います。スポーツや勉強、習い事など、なんでも良いと思います。好きことを見つけて熱中してください。



左から甲斐ころろさん、堀恭輔君、甲斐翔太郎君

城選手への応援メッセージ

「タツクルに勝るプレイなし！」僕たちも城先輩のような気持ちで勝つプレイヤーになりたいです。

日出町にはラグビーができる少年クラブがありません。そのため、ラグビーが好きな子どもたちは別府市にある別府ラグビースクールで練習をしています。現在、日出町でラグビーをしている小学生は6人。毎週日曜日、別府市まで通う甲斐翔太郎君は「日出町でラグビーをする人が少ないので、ラグビー好きの小学生を募集中」と言っていました。



サガン鳥栖 DF29

岸田 翔平 選手
(豊岡平道出身)



J1チーム、サガン鳥栖とプロ契約を結び、日出町初のJリーガーとして4月にデビューする岸田翔平選手。

現在、福岡大学の4年生。大学と練習の日々で帰省するのは年に1回程度という忙しい日々を送る岸田選手が、昨年12月に日出町役場を訪れました。

3歳年上のお兄さんの影響で5歳の時から双子の兄である和人さんとサッカーをはじめたという岸田選手に聞きました。

―日出町初のJリーガーおめでとうございます。

ありがとうございます。全員と一緒に戦うという姿勢のサガン鳥栖に入れて良かったと思っています。チームの一人として力を発揮していきたいです。

―日出町での思い出の場所はどこですか？

3つ上の兄と双子の兄と3人で、よく平道グラウンドで練習していました。昔は雑草だらけの空き地という感じでしたが、海が見渡せてとても景色が良いんです。今でも、帰省した時には、ランニングコースの1つになっています。

―いつからプロになりたいと思っていましたか？

小学校5年の時、豊岡FC（フットボールクラブ）が無くなることになって、トリニータジュニアの試験を受けました。それから練習のため、大分市へ通う毎日でした。トップチームの選手のプレイを見て「もっと上手になりたい、いつかはプロになり

たい」って思い始めました。

そのためには基礎練習が足りなかつたので、双子の兄とふたりでガソリンスタンド裏の明るい所や自宅の庭で車のヘッドライトをつけてリフティング練習をしていました。できるようになるまで夕食が食べられないということもありました。

―サッカーがづらい時ややめなくなることはなかつたのですか？

そんな時期もありましたが、双子の兄弟とサッカーをしていたこともあり、1人じゃなかつた。それに、毎日のように練習や試合の送り迎えをしてくれる母や悩んだ時に相談に乗ってくれる兄がいたから「やめられない」って…。

―プロを目指す子どもたちに一言

お兄ちゃんに憧れて、サッカーを好きになって、好きなことを続けてきました。自分が見たいと思ったことを諦めないで続けることが大事だと思います。

岸田選手が所属していた豊岡FCが無くなった後、豊岡の子どもたちも多く在籍している日出サッカースポーツ少年団（日出SSS）の練習にお邪魔しました。

現在、46名の子どもたちが、町内各地から集まり、笠置監督の指導の元安養寺グラウンドで汗を流しています。今は、6年生最後の大きな試合となる九州少年サッカー大会で県大会出場を目標に厳しい練習に励んでいました。

岸田選手への応援メッセージ

「J1で活躍して、トヨタカップにでるような選手になつてください」



右より、帯刀大地君、河野凜太郎君、岩尾秀哉君

地域で取り組むスポーツ

日出町総合型地域スポーツクラブ「ひまわりのたね」

各自の興味関心・競技レベルに合わせて、多種目のスポーツに触れる機会を提供

地域密着型のスポーツクラブとして、「ひまわりのたね」が誕生して2年が経ちました。現在290名の方が会員登録をしており、地域コミュニティの強化にもつながっています。クラブには、複数の種目が用意されており、障がい者を含む子どもからお年寄りまで、また、初心者からトップレベルの競技者まで、年齢・興味・関心・体力・技術・技能レベルなどに応じて活動できるようになっています。皆さんの集いの場として、定期的に継続的にスポーツ活動ができることを目的としています。今後は、文化的活動も行うことを検討しています。



教室のご案内

- ①3B体操 ②バトミントン ③男子新体操 ④フィットネス ⑤ヨガ ⑥スポーツチャンバラ
⑦スポーツライフ ⑧なぎなた ⑨卓球バレー ⑩綱引 ⑪弓道 ⑫陸上 ⑬パンづくり

■問合せ ひまわりのたね事務局 ☎ 73-3156

- ①希望するプレゼントの記号を1つ
A. 岸田選手サイン
B. 城選手サイン
C. 城選手サイン入り
キャノンイーグルスユニフォーム
- ②住所
③氏名
④電話番号
⑤選手への応援メッセージや町報へのご意見
- 締切: 1月25日(金)必着
■宛先: 〒879-1592 日出町 2974-1
日出町役場 政策推進課
広報ひじ1月号プレゼント係
- 問合せ: 政策推進課 ☎ 73-3116

今回インタビューに答えてくれた岸田選手・城選手のサインおよびサイン入りユニフォームを、町の皆さんにプレゼントします。ハガキに必要事項を明記してご応募ください。応募多数の場合は抽選。プレゼントを役場政策推進課に取りに来ていただける方に限りです。当選者には、後日、電話にてご連絡差上げます。

来庁してくださる方限定!
サイン・ユニフォーム
プレゼント



午前8時からは、新鮮な魚や野菜が並ぶ朝市も開催されますので、皆さんの応援をよろしく願います。

コースにチャレンジします。

午前8時からは、新鮮な魚や野菜が並ぶ朝市も開催されますので、皆さんの応援をよろしく願います。

1月14日(月)
午前9時30分開会
今年も恒例の「日出町まちおこし新春健康マラソン」が開催されます。

例年700人ちかくの参加者が大神漁港の朝市会場をスタートして真那井公民館手前を折り返す10kmコースや小学生低学年の1.5kmのコースにチャレンジします。

日出町まちおこし
第32回新春健康
マラソン大会

日出町出会い応援事業 カップリングパーティー



平成22年の国勢調査で、町内の20歳から59歳までのおよそ4,000人のうち30%強が未婚であるというデータが示されました。また、50歳時点で一度も結婚したことがない人の割合は約13%。10年前と比較すると未婚率は4.4%上昇しています。「異性に声をかけられない」「婚期を逃してしまい、積極的になれない」など、結婚しない・できない理由は様々です。

日出町では「結婚したい気持ち」を持つ方々の出会いの場のひとつになればと、今年の6月より年4回「日出町出会い応援事業」としてカップリングパーティーを行っています。すでに3回実施され、11組のカップルが誕生しました。

このイベントについて、たくさんの意見や要望が寄せられる中、「実際、どのようなか分からないので参加しづらい」という声を頂きました。そこで、婚活未経験の広報スタッフが、カップリングパーティーの会場におじゃまし、会場の雰囲気をお伝えしたいと思います。



イベント情報は 町ホームページや広報誌で

日出町が行うパーティーは16対16で行われます。町内のホテルでランチとおしやべりを楽しむというスタイルで、アルコールはありません。

基本的に町内在住や町内で働く方が優先ですが、町外や福岡県からの参加者の姿もみられます。

パーティーの開催日が決まると、町のホームページや広報誌で募集が始まり、参加希望の方はメールもしくは、専用の申込用紙をダウンロードして申し込みをします。抽選で男女各16名の参加者が決まると、申し込み時に登録したメールアドレスに連絡が入り、ニックネームや趣味、居住地、結婚歴など、簡単なプロフィールの登録を行い事前の準備は完了。あとは当日を待ちます。

カップリングパーティー

@ソラーージュ

3回目のパーティーが行われた12月9日、みぞれまじりの強い風が吹く寒さの中、ホテルソラーージュには次々と参加者が集まります。

クリスマスツリーが出迎えるロビーを抜け、2階の受付で番号札を受け取り会場へ。

会場には男女が交互になつて座る丸テーブルが4つ、テーブルの上に置かれた独身誓約書にサインした後、参加者のプロフィール一覧に目を通しながら開始時刻を待ちます。

おひとりや友達同士での参加など様々ですが、皆さん緊張した様子もなく和やかな雰囲気です。

司会者の説明の後、カップリングパーティーがスタートします。まずは、隣の方に「おあいさつ、プロフィールカードを話のきっかけに、お互いの趣味や住んでいる所、仕事などの話が始められます。

このパーティーでは、16名全員の異性と話をするため、1人あたりの会話時間はおよそ4分。限られた時間でお相手の人となりを知ろうと、相手の目をしっかりと見つめてお話する参加者の姿が印象的でした。

4分が経過すると、司会者の合図で男性が1つずつ席を移動し、次の方と「はじめまして」。町内の参加者が多いので「どちらですか？」と話し始めると、共通の知り合いの話題で盛り上がる姿があらこちらで見られました。



休憩をはさみ、全ての異性との会話が一通り終わると、「ファーストインプレッションカード」という紙が配られ、男女別れてそれぞれ1列に整列します。16の順に向かい合う参加者は、もう一度話してみたい相手の番号をカードに記入

してスタッフへ渡します。

開始からおよそ1時間、参加者の皆さんはこれからランチタイムです。ポリュームたっぷりの食事に舌鼓を打っている間、スタッフは会場を離れ、「誰が、どの異性に興味を持っているのか」が分かるファーストインプレッションカードを全員分集計します。

自分に興味を持っている異性が分かるように、番号に印がつけられて本人の元に戻されます。もちろん、このカードを見られるのは本人とスタッフだけです。

お腹が満たされたら、次は10分間のフリータイム。もう一度話をしたい相手に自由に声をかける時間なのですが、この日の参加者は恥ずかしがり屋な方が多いらしく、司会者の「どうぞ」という声に戸惑い、最初はその場に立ち尽くしていました。しかし、「どんどん声をかけてくださいよ」という司会者の元気な声に後押しされた参加者は、男女問わず自ら気になる異性に話しかけ、自分のメールアドレスが書かれた紙を手渡す方もいました。

フリータイム終了後、最終的なカップリング。「マッチングカー



ド」に第1・2希望の異性の番号を記入しスタッフへ渡します。

デザートを食べながら集計結果を待つ参加者のもとに、スタッフに戻りやすいよ結果発表。今回は4組のカップルが成立しました。

めでたくカップルになられたおふたりは、連絡先の交換や次回の約束などを行うべく、ロビーのソファへ移動。会場内では他の参加者が、今後お友達も含めてお付き合いしたいというお相手とメールアドレスの交換をして会は終了しました。

ひとつの出会いを大切に

今回カップルになったおふたりに感想を聞くと、「緊張というか、どうしていいか分からず、あつと言っただけです。他愛のない話をしていただけですが、席が隣同士で…。これから徐々に仲良くなっていきたいです」と照れくさそうに話してくれました。

初めて会ったとは思えない、自然な雰囲気のおふたり。このパーティーに参加していなければ、出会うことがなかったおふたりのこの先が楽しいものであれば良いと思わずにはいられません。また、カップルにはならなかった

別の男性参加者は「普段の生活では出会うことがない人と会って話ができたのが楽しかった。カップルにはなりませんでしたが、『今度、友達と一緒に飲みましょうって約束しました』と話していました。

司会の日名子水伎留さんは、日出町でのカップリングパーティーをはじめ、県内各地で婚活イベントの司会を行っています。「日出町の方はほっこりしているというか、穏やかな雰囲気が多いです。地元ということで安心感があるのかもしれない」。

「出会いの場では、特に第1印象が大切です。おしゃれでなくてもいいので清潔感があつて、気軽にお話される方に人が集まるようですね」。参加するからには、たくさんの方と交流してほしいと話していました。

初めて見学する婚活パーティーでしたが、参加するのも、隣の席に座るのもひとつの「ご縁」。

参加者の皆さんがそこから良い方向へと深めていくのだと改めて感じました。まずは、行動を起こす。待っているだけでなく、きっかけを作り「ご縁」を大事にするということが大切なようです。



ビュッフェスタイルの食事で会話も弾みます



食事の間、スタッフが集計



フリータイム。気になる異性に声をかけたり、事前にスタッフから渡されているメールアドレスを書いた紙を渡したり自由に動きます



最終的に気になる相手を第2候補まで選び、マッチング成功ならば、ふたりのお引き合せタイム



まとめ

カップリングパーティーの流れ

受付にて本人確認、番号札を受け取り、
会場で独身誓約書に記入



男女交互になった席でテーブルトーク。全ての人と話ができるよう男性が1つずつ席を移動していきます。1人と話す時間はおよそ4分間



全員とおしゃべりした後、男女別れて向き合います。改めておしゃべりたい人の番号を記入し、スタッフへ渡します



■問合先 政策推進課
☎ 73-3116

結婚は「ご縁」が大切だと言いますが、この記事をご覧いただいたのもひとつのご縁だと思えます。「出会い応援事業」のことを頭の片隅に置いていただいて、「ご自身はもちろん、どなたかが結婚を考えている」という話の時、役立てていただければ嬉しく思います。

来年度は従来のスタイルのパーティーに加え、イベント体験型の企画や、魅力アップのためのマナー講習会など、より多彩な取り組みを行っていきたく考えておりますので、引き続きご期待ください。ご意見やご要望などもお待ちしておりますので、ふるってお寄せいただければと思います。

このイベントがご縁で結ばれたおふたりが、役場にいらしてくださいる日を、我々は心からお待ちしております。

出会い応援事業担当者より

日出町 facebook

パソコンでも身近な情報が満載
<http://www.facebook.com/hijimachi>



多文化交流イベントで
**各国の民族芸能・
 文化を披露**

12月9日、中央公民館で「日出町文化協会10周年記念」多文化交流イベント」が行われました。

豊岡八津島神社で継承されている大分県無形民俗文化財の「津嶋神楽」の後、中国やベトナムからの留学生らがそれぞれの国の民族芸能を披露しました。書や竹工芸などの作品が展示された公民館では「香木の香りを聞く」香道体験なども行われました。お点前体験に参加したスリランカからの留学生は、初めての経験ということで、作法を教わりながらお抹茶を楽しんでいました。



3000句以上から最高賞入賞
全日本川柳誌上大会



町長と記念撮影する清池羊子さん(写真中央)と日出萬里川柳会のおふたり

12月7日、「日出萬里川柳会」の会長らが役場を訪れました。同会会員の清池羊子さんが、全日本川柳協会主催の第十六回全日本川柳誌上大会で最高賞の「平成柳多留賞」の受賞を報告しました。

近所の方が新聞に投稿していたことをきっかけに自らも新聞への投稿を始め12年。日々の思いを込めたという今回の入選句「逆風をいつか寄り添う風にする」を、書道を教える清池さんは掛け軸にして町長に披露しました。

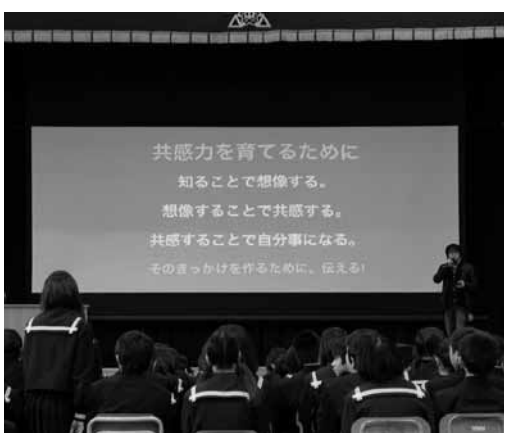
清池さんは、「これからも自分のペースでこつこつ続けていきたい」と話していました。

円滑なコミュニケーション
知る・想像する・共感する

12月7日、日出中学校で矢萩邦彦さんの講演会が行われました。矢萩さんはロンドンパラリンピックでの取材をはじめ、様々なメディアで「伝える」ことを続けています。

1・2年生が参加した講演会では、「東日本大震災の被災地で必要としていた支援物資はハンガーとコピー機だった」などのエピソードを挙げ、「人によって、場所によって相手が必要としているものは違う。想像力を働かせることが大切」と話しました。

生徒の代表が「今日の話を普段の生活の中で思い出してほしい」と皆によびかけ、講演会は終了しました。



身の周りの放射線を実際に測定 南端小・中学校で出前授業

12月13日、南端小・中学校で、放射線について正しく理解するための出前授業が行われました。

九州大学で「量子線測定」の研究を行う執行信寛助教が「放射線は医療の現場で活用されるなど、身近なところに存在している」と説明しました。

参加した11名の生徒・児童はドライアイスの煙を使って放射線の通過した跡を確認した後、簡易測定器を使って放射線量を計測しました。



スポーツ振興で表彰 第53回スポーツ推進委員 功労者表彰



12月6日、長年にわたり、地域のスポーツ振興に貢献したとして、文部科学大臣賞を受賞した後藤佑さん(70)が役場を訪れ工藤町長に報告をしました。

後藤さんは昭和55年に町体育指導委員に就任以来、ソフトボールを生涯スポーツとして広く町民に浸透させ、現在は町総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」会長として活躍中です。

後藤さんは、「受賞は皆さんのおかげです。これからも多くの町民にスポーツをする機会を提供できる環境づくりに取り組みたい」と話していました。

体育館に響く気合いの声

なぎなた競技交流大会

12月9日、町営体育館で「なぎなた競技交流大会」が行われました。大分県体をきっかけに始まったこの大会は今年で5回目を迎え、大分県内のみならず、宮崎県や福岡県の選手も参加し日頃の練習の成果を発揮していました。

「日出町なぎなた連盟」の子どもたちによるリズムなぎなたでは、自分の背丈の2倍もあるなぎなたを見事にさばく子どもたちに大きな拍手が送られました。

その他2人1組で所作の美しさを競う演技競技や、試合競技、チーム混成の団体戦が行われ、「日出町なぎなた連盟」は一般の部で優勝をおさめました。



11月、東日本大震災被災地支援として発送した支援物資について、亘理町にお住いの男性からお礼のメールを頂きました。一部抜粋してご紹介します。

日出町の皆さん。はじめまして。

12月8日(土)に亘理町西部地区まちづくり協議会主催の「餅つき会」が開催され、子供たちや老若男女、約100名以上が参加し、白と杵で餅つきをし、沢山の美味しい餅料理が振る舞われました。

参加の皆さんは笑顔で楽しく餅を食べて近所の方々と会話。親子の会話も弾んでいました。食事の後に亘理町職員より、餅米は日出町からのご支援であることを聞き、心もジーンと一層温かくなりました。

被災地のことを忘れずにお心遣いいただいて、こんなに嬉しいことはありません。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

会場のすぐ近くには仮設住宅がありそこに住む方は生活への不安もあります。このようなイベントは前向きに生きる勇気のエネルギーになると思います。

全国の方々からの「ガンバレ」の励ましに、負けない力がみなぎってきます。

日出町の皆さんには寒くなってきましたのでお身体を大切に元気で生活されることを願っております。

20歳になったら国民年金

20歳になったら、国民年金の被保険者になります。(厚生年金や共済組合に加入している方、その配偶者・扶養されている方は除きます)

誕生日前に年金機構から送られてくる「資格取得届」に必要な事項を明記し、役場または年金事務所へご提出ください。送られてきた年金手帳は、将来年金を受け取るタイミングに必要ですので、大切に保管してください。

また、学生の方や収入が少なく保険料の納付が困難な方には、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など、保険料の支払いを猶予する制度があります。

■問合せ 住民課年金係
☎ 73-3122

確定申告はおはやめに

町県民税・国保税・介護保険料の申告期間は2月1日(金)～3月15日(金)です。

各地区公民館等での出張申告は別途回覧でご確認ください。
確定申告の受付は2月18日(月)からです。

○所得の対象期間 平成24年1月1日～12月31日
○申告に必要なもの

①印鑑

②平成24年中に支払った国民年金保険料・国民健康保険税・介護保険料・生命保険料・地震保険料などの各種証明書等。

③給与収入のある方は平成24年の源泉徴収票。

④年金収入のある方は平成24年の年金源泉徴収票。

⑤自営業の方は、仕入・売上・経費等を明記した帳簿、収支内訳書、領収書等。

■問合せ 税務課
☎ 73-3123

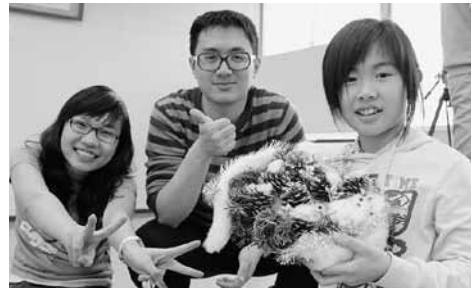
寄附金税額控除の拡充

住民福祉の増進に貢献する寄附金については、町民税・県民税の控除対象となつていきます。今回の条例改正で寄附金税額控除対象範囲が広がりました。

■新たに対象となる寄附金
所得税の寄附金税額控除対象となる寄附金のうち、日出町及び大分県がそれぞれの条例で指定した公益社団法人・公益財団法人・学校法人・社会福祉法人などへの寄附金。

■問合せ 税務課住民税係
☎ 73-3123

APU 学生とのクリスマス交流会



右から藤井さん、ウエン・イエヤンさん、グエンレバオウイさん

今年で2年目となるクリスマス交流会が12月15日、役場大会議で行われました。

町内の小学校から46名の児童が参加し、立命館アジア太平洋大学(APU)の学生20名とクリスマスリース作りや外国語でのゲームなどを楽しみました。

クリスマスリースを完成させた日出小学校5年生の藤井美緒さんは「クリスマスツリーをケーキみたいな感じで作れて楽しかった。英語は難しかったけど、なんとなく出来てよかった。英語を勉強して、海外

に行つてみたい。来年も参加します」と言いました。

日本語を勉強して3ヶ月のAPU1年生グエン・レバオウイさんは「一緒にリースを作った楽しかった。自分の日本語も上手になるし、ベトナム語も教えることができて嬉しかったです」と笑顔でした。



SAS日出チームの皆さん

SAS(*1)日出チームの衛藤愛(写真 左から2番目)さんは「日出町と一緒に活動を初めて2年になりますが、まだまだ慣れません。イベント前日は眠れないほど緊張します。

でも、日出町さんのフォローがあつて助かります。やはりチームワークがないとできない活動です、来年も企画して、後輩につなげていきます」と頼もしく語りました。

(*1)SASの活動とは

APUと地域をつなげるために学生スタッフが地域交流関連イベントを企画・運営するものです。

臨時職員登録制度への登録者を募集しています

業務の繁忙期や職員の育児休業など、代替職員が必要になった場合に登録者の中から臨時・非常勤職員を雇用する制度です。登録しても雇用が約束されるものではありません。

- 登録条件 職務遂行に支障がなく、良好な健康状態であること。
※登録の有効期限は1年間です。1年を経過した場合は再登録が必要です。
- 採用方法 書類選考及び面接
- 雇用期間 ・臨時職員については原則6カ月以内(最長1年間)
・非常勤職員については原則1年以内
- 勤務時間 8時30分～17時(職種により異なります)
- 賃金・報酬 6,200円以上(職種により異なります)

<募集する職種及び業務内容>

職 種	主な業務内容	資格・条件等
一般事務補助員	資料作成、整理等の補助	ワード、エクセルの基本操作ができる方
保健師	保健、医療、福祉活動の支援事務	保健師免許を有する方
看護師	乳幼児健診・予防接種業務	看護師免許を有する方
助産師	乳児訪問、乳幼児健診業務	助産師免許を有する方
歯科衛生士	幼児健診・育児相談業務	歯科衛生士免許を有する方
ケアマネージャー	地域包括支援センター業務・介護保険認定調査業務	介護支援専門員の資格を有する方
図書館司書	資料整理・図書貸出業務	図書館司書の資格を有する方

■問合先 総務課総務人事係 ☎73-3150

致道館雑話

第八回

日出藩の組織図を見ると、他藩にはない「龍虎圓方」、「吳茱萸方」という部署が見受けられます。

何をする所? 町誌や史料をめぐると、龍虎圓方は藩主(木下)家に伝わる小児用秘伝薬の名称。真珠、蝸、龍腦(南洋材の結晶)など7種を調合した丸薬であったようです。

龍虎圓方は高価な薬材を入手し、秘法に従って製造する職域であったわけです。

次に、吳茱萸方。漢方薬の辞典で見ると「吳茱萸は中国南方原産のミカン科低木。赤紫色の果実が生薬で、日本には江戸時代に移入された」という。当時、吳茱萸生姜湯(シヨウガ、ニツケイを混入)として健胃、冷え症に多用されていました。吳茱萸方は最新生薬の栽培採取地を運営していたのでしょう。秘薬、生薬とも専売品として、大坂の薬種問屋に売り渡されていました。

藩の専売品は豊後表(七島イ草製品)、麻地酒(清酒)が有名でしたが、全国でも希少価値のある薬関係でも収入を得て、年貢米の少なさを補っていたのでしょう。

殿様、藩士とも、なかなか商才に長けていた?

館長・佐藤雅秀

健康 子育て

1月の休日当番医

健康増進課 ☎ 73 - 3130

- * 診療時間 9時～17時
- * 町報発行後に休日当番医が変更になる場合があります。各医療機関や健康増進課にご確認ください。

1月の休日当番医

1日	吉岡内科医院	73-2787
2日	鈴木病院	73-2131
3日	サンライズ酒井病院	72-2266
6日	鈴木病院	73-2131
13日	河野医院	72-2302
14日	真那井診療所	72-5270
20日	酒井医院	72-2624
27日	日出児玉病院	72-2724

2月の休日当番医

3日	矢野小児科医院	72-1011
10日	鈴木病院	73-2131
11日	サンライズ酒井病院	72-2266
17日	大石内科医院	72-2121
24日	岡田内科クリニック	28-0101

姫開きボランティア

日出暘谷高校のボランティア委員会の生徒が、ご自宅に伺い、眠っているお雛様の飾りつけと片付けをします。

■日時

飾り付け 2月16日(土) 10～12時
片付け 3月9日(土) 10～12時
※時間は目安です。

■申込

- ・日出暘谷高校まで電話かFAXで申込(名前・住所・電話番号・ひな壇の段数をお伝えください)
- ・福祉施設及びおひとり住まいの高齢者のお宅が優先です。(限定15名)
- ・申込の締切は2月4日(月)

日出暘谷高校 ☎ 72-2855
FAX 72-2655

七草粥と健康

日本には1年を通じてさまざまな行事があり、その際に食べられる行事食には、文化的な意味だけでなく、健康に即した実際的な意味も込められています。1年の始まりを祝い、健康を祈って食べられるお餅やおせち料理、無病息災を祈って食べられる七草粥、夏バテ予防のために食べる土用のうなぎ、冬を乗りきるため冬至に食べるビタミン豊富なかぼちゃなどがあります。

七草粥には、お正月の祝膳やお酒で疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという効果もあるようです。

行事食の作り方や食べられ方など、今後も大切に受け継いでいきたいものです。

— 七草粥の作り方(1人分)

- ①米60gをとき、水415ccと一緒になべに入れ30分ほどつけておく。
- ②ふたをして、強火にかけ沸騰したら弱火にしてふたをずらし、40～60分ほど炊く。焦げないように火加減に注意してください。
- ③火を消して、下ゆでして刻んだ七草(せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ)適量を入れ、蒸らす。
- ④七草に火がとおったら塩適量を加えてできあがり。

*ご飯から作る場合は、ご飯1に対して水3～4を入れて炊いて下さい。

日出町の栄養士が運営する ひじ町食堂 <http://hijijin.com/cafe> では、他にもたくさんの"食"情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

— ノロウイルスにご注意 —

感染性胃腸炎の患者が増加しています。過去10年間の同じ時期で、平成18年に次いで第2位の水準となっています。

年間の食中毒患者の約半分はノロウイルスによるもので、うち約7割は11月～2月に発生するなど、この時期の感染性胃腸炎の集団発生例の多くはノロウイルスによると考えられます。

ノロウイルスによる食中毒は、主に調理者を通じた食品の汚染により発生します。感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいため、注意が必要です。

■感染経路

ウイルスの蓄積した加熱不十分な二枚貝や、感染した人の調理等により汚染された食品。患者の糞便やおう吐物からの二次感染。人から人への直接感染。咳やくしゃみのしぶきによる飛まつ感染。乾燥して空中に漂ったウイルスを吸い込むことによる空気感染。

■症状

感染から発症まで24～48時間の潜伏期間があり、吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。軽い風邪のような症状のこともある。乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

■予防のポイント

- ・子どもや高齢者など抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱しましょう。
- ・食事前やトイレの後などは手洗いをきちんとしましょう。特に指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首など汚れが残りやすいので丁寧に洗いましょう。
- ・患者のおう吐物などは、ペーパータオル等で静かにふき取り、塩素消毒後、水拭きをするなどして、二次感染を予防しましょう。

日出町地域子育て支援センター
☎28-1212

- 子育て広場・子育て相談・援助
月～金 9時～16時
- 赤ちゃん広場(0歳～2歳)
8日(火)・15日(火)・22日(火)
10時～12時
- エアロビクス教室(0歳～就学前)
11日(金)・25日(金) 10時45分～
- 手作りこまで遊ぼう(0歳～就学前)
17日(木) 11時～
- 誕生会(0歳～就学前)
21日(月) 11時～
- たこあげしよう(0歳～就学前)
29日(火) 10時～12時
川崎公民館

日出町児童館 ☎72-0323

- WAKUWAKUつみきくらぶ(乳幼児)
23日(水) 10時30分～12時
- ベビーダンス
(乳幼児親子・要申込・定員15組)
28日(月) 10時～12時

さざんか児童館 ☎72-8383

- 絵本の読み聞かせ
7日(月) 10時30分～(乳幼児親子)
26日(土) 10時30分～(小学生)
- 赤ちゃん広場(0歳児・要申込・200円)
11日(金) 10時30分～
- 親子でもちつき大会
12日(土) 10時～12時
- こまを作ろう
14日(月) 9時～
- 巡回児童館(あつまれ!ちびっこ)
29日(火) 10時30分～ 中央公民館
- みんなで誕生日パーティ!
(乳幼児親子・要申込・200円)
31日(木) 10時30分～
- 親子グループ活動 10時30分～
0～1歳児 9・16・23日(水)
2歳児 10・17・24日(木)
3～5歳児 8・15・22日(火)

講座案内

お母さん学級を開催します

妊娠中のお母さんを対象に、妊娠中の過ごし方やお産についてのお話、調理実習をします。赤ちゃんの健やかな成長を願って、この教室で楽しく勉強しましょう。他の妊婦さんとも交流を持つ良い機会にもなりますので、ぜひご参加ください。*楽な服装でお越しください。

■場所 保健福祉センター 母子保健室

	内容	日時	申込期限	持ってくるもの
①	「妊娠・授乳期の食事」 ・管理栄養士によるお話 ・調理実習	2月5日(火) 10時～12時30分	1月31日(木)	・母子健康手帳 ・筆記用具 ・バスタオル ①の時は、 上記のほかに ・エプロン ・三角巾 が必要です。
②	「楽なお産をするために」 ・お産のしくみのお話 ・おっぱいのお話	2月13日(水) 10時～11時30分	2月8日(金)	

■問合せ 福祉対策課子育て支援係 ☎73-3121

講座案内

両親学級を開催します

妊婦さんとその家族の方を対象に、妊娠・出産・育児についての知識や関心を深めるための教室を開催します。ぜひ、この機会にご家族の方と一緒に参加してみませんか。*楽な服装でお越しください。

■場所 保健福祉センター 母子保健室

	内容	日時	申込期限	持ってくるもの
	・産後のママの心の健康 について ・沐浴体験 ・妊婦体験	2月24日(日) 10時～12時	2月15日(金)	・母子健康手帳 ・筆記用具 ・バスタオル

■問合せ 福祉対策課子育て支援係 ☎73-3121

後期高齢者医療制度加入者の皆さんへ

健康診査を実施します

後期高齢者医療制度に加入されている方を対象に、糖尿病等の生活習慣病の発見、早期治療のため、健康診査を実施しています。

すでに生活習慣病等の治療をされている方や、本年度特定健診またはそれに相当する健診を受診された方は、必ずしも受診する必要はありません。受診券の有効期限は平成25年3月31日までです。

○健診を受ける際に必要なもの

後期高齢者医療被保険者証・健康診査受診券

■問合せ 大分県後期高齢者医療広域連合 ☎097-534-1711

日出町福祉健康推進大会

ダイヤモンド婚及び金婚を迎えられたご夫婦を始め、長年にわたり社会福祉事業に功績があった方に表彰状を送る「日出町福祉健康推進大会」が11月13日に行われました。
表彰された皆さんは次の通りです（敬称略）

■ダイヤモンド婚（結婚60周年）

田住 隆吉・よし子（柏川）
阿部 多美雄・千代子（西の二）
本田 勝美・聰恵（西の二）
梶原 登・アキ子（新町）
安部 勝好・公子（影平）
石原 義朝・ツヤ子（堀）
迎田 英記・富美子（日出団地）
吉野 仁・トヨ（西部）
堤 淳・静香（中部）
利光 國則・千代子（中部）
藤本 豊彦・マサコ（一北）
河野 誠・美智子（大峯）
伊東 悦雄・須美子（大神中央）
菊池 義久・美枝子（三尺山）
菅 文孝・ミホ（三尺山）
興田 學・美都子（真那井）

■金婚（結婚50周年）

中野 恒彦・佐加江（太田）
市口 憲太郎・玲子（太田）
河野 幸司・洋子（是城）
城内 泰司・聖子（是城）
一宮 昭一郎・サト（中の三）
後藤 勇・瑞恵（西の二）
白水 秀明・美榮子（西の二）
生山 昭一・照子（西の二）
山本 岩男・美子（西の三）
安部 芳徳・信子（小浦）
工藤 富雄・チズ子（影平）
佐藤 孝司・慶子（団地東）
坂藤 和孝・輝子（団地西）
岡部 忠夫・和子（団地南）

秋 幹之助・芳子（南浜）

多田 輝雄・ミツエ（下町）
安部 静夫・アイ子（日出本町）
吉弘 直幹・元子（八日市）
阿南 幸市・満子（八日市）
毛井 正記・照子（西八日市）
帯刀 勝己・三代子（佐尾）
岡田 良則・利子（佐尾）
佐藤 昌延・隅子（堀）
小田 和彦・弘子（内堀）
河野 至孝・ハル（東部）
阿南 司・ミナ子（中部）
宮本 恵文・慶子（自然郷）
長谷部 洋海・美作子（宗行）
成富 祚幸・桂子（則次）
林 政勝・初子（則次）
浅野 七郎・サト子（内野）
工藤 元喜・エイ子（内野）
竹友 毛奈吉・敏子（内野）
客野 兼藏・博子（内野）
湯浅 明・初子（中村）
手島 松男・艶子（高尾）
此元 和彦・浩子（高尾）
河野 學・恵美子（高尾）
中山 忠義・廣子（牧の内）
三浦 杉雄・ユキ子（軒の井）
佐藤 禮二郎・綾子（港）
佐藤 友喜・秋子（真那井）
工藤 昭雄・久代（真那井）
佐藤 昭博・サヨ子（八代）

■在宅介護賞

釘島 弥壽子（豊岡本町）

太田 千賀（日出中央）

尾方 勝子（赤松）
庄司 登（辻の尾）
石井 房子（成行）
阿部 よしみ（内野）
御手洗 恭子（内野）
岩尾 イセ子（港）
河野 千鶴（真那井）

■子育て大賞

三浦 雄・美紀（薄尾）
大川 光生・初美（太田）
松尾 雅文・典子（是城）
吉岡 雅也・和佳（長野）
宮内 和誠・亜希子（佐尾）
沖 隆浩・美幸（東部）
吉野 茂樹・晶子（中部）
川口 健太・明美（中部）
甲斐 秀司・岬（自然郷）
深田 孝行・里美（三尺山）
住野 彰・規子（上深江）

■明るい高年賞

佐野 孝文（西の二）
後藤 千里（団地西）
大藏 初雄（日出団地）
佐藤 秀光（原山）

■健康賞

足立 チホ（太田）
今宮 保（一北）
木付 千代子（一北）
工藤 次男（辻の尾）

■健康づくり功労賞

平道地区（平道若葉会）
川崎則次区

■日出町社会福祉協議会会長表彰

模範自力更生者

宮川 禮子（影の木）

社会福祉事業協力者

山口 豊（西区）

木付 東三（赤松）

伊藤 雅子（自然郷）

松本 ユキエ（原山）

渡邊 清美（真那井）

琴藤智会代表 仲山 とも子

■日出町社会福祉協議会会長感謝状

後藤 公子（太田）

溝口 ミチ子（西部）

日出町カラオケ愛好会

代表 高橋 英明

■日出町老人クラブ連合会会長表彰

優秀老人クラブ

太田老人クラブ（寿会）

老人クラブ指導者功労賞

大石 勝直（親栄影の木老人クラブ）

三浦 千廣（日出団地老人クラブ）

近藤 将典（日出団地老人クラブ）

藤井 征子（栄冠老人クラブ）

浅野 良子（東部老人クラブ）

利光 隆子（南大神老人クラブ）

●行政相談

ところ 役場新館3階333会議室
とき 1月4日(金) 10時~15時
問合せ 総務課 ☎73-3150

●心配ごと相談

ところ 役場新館3階333会議室
とき 1月8日(火) 10時~15時
問合せ 福祉対策課 ☎73-3121

●心配ごと・行政合同相談

ところ 藤原地区公民館
とき 1月15日(火) 10時~15時
問合せ 福祉対策課 ☎73-3121

●障がい児・者等支援相談

相談先 社会福祉法人「みのり村」
 みのり障がい者生活支援センター
 ☎72-2818

●障がい児・者生活支援相談

相談先 太陽の家障害者生活支援センター
 ☎72-1682
 (受付時間:8時~17時)

●高齢者総合相談

相談先 日出町地域包括支援センター
 (健康増進課内) ☎73-3115

●家庭児童・母子婦人相談

相談先 福祉対策課 ☎73-3121

●いつでも子育てほっとライン

相談ダイヤル ☎097-545-0110
 (24時間 365日受付)

●無料人権相談所

相談先 大分地方法務局杵築支局
 ☎0978-62-2271

●法律相談 (要予約)

ところ 日出町保健福祉センター
とき 毎月第2・4火曜日(祭日の場合は休み) 13時30分~16時30分

費用 30分につき5,000円
 (収入が一定以下の方及び多重債務の相談は無料)

申込・問合せ 大分県弁護士会
 ☎097-536-1458

新刊案内



「絶対服従者」
 関俊介：著 新潮社：刊

突然変異で高度な知性を備えたハチやアリの人の代わりに働き、失業者が溢れる街で、おぞましい秘密工場の存在を知った「俺」。悪事を暴く闘いから生還した先に待っていたのは、働きアリの苦渋を味わう絶対服従の日々だった…。



「盗人」
 田牧大和：著 新潮社：刊

江戸を揺るがす盗賊集団「幻一味」。だが、一味の面々は、自分たちを仕込み、操る男が誰かを知らない。盗みの裏に隠された本当の目的とは? 「小説新潮」掲載に書き下ろしを加え単行本化。



「自分を生んでくれた人」
 内村航平の母として
 内村周子：著 祥伝社：刊

ほめる、励ます、感謝する。子どもには「安心」を与えたい。ロンドンオリンピック金メダリスト・内村航平の母が、家族の歩みや自身の半生、自分流の子育てなどについて綴る。



「あれから12年、私は今…」
 500gで生まれた全盲のわたし
 井上美由紀：著 ポプラ社：刊

生まれたときから全盲の少女は、困難を明るく前むきのりにこえ、マッサージ師となった。母と二人三脚で歩んできた生い立ちと、「生きてます、15歳。」から12年が経過した現在のことを綴った、27年間のドキュメント。

1月の休館日

1日・2日・3日・7日・13日・14日・21日・27日・28日・31日

■ブーフーウーによる読み聞かせ

○とき 1月12日(土) 10時30分~11時30分
 0歳~3歳向け
 ○とき 1月26日(土) 10時30分~11時30分
 4歳~小学生向け

■FUMFUMによる読み聞かせ

○とき 1月25日(金) 11時~11時30分
 0歳~5歳くらいまで

募集

経営指導員採用候補者選定試験

県商工会連合会では、経営指導員として県内の商工会において、中小企業者の

経営改善普及事業等(中小企業等の支援・育成)に従事したい方を募集します。詳しくは、ホームページ「おまかせ大分」をご覧ください。

▼第1次試験

専門・能力・適正試験

▼日時 1月27日(日)10時～

▼場所 県中小企業会館

▼受験資格

①平成24年4月1日現在の満年齢が34歳未満の方であって、大学卒業程度の学力を有する方。

②採用後の商工会地域に転居可能な方。

▼採用予定者数 3名

▼問合せ 県商工会連合会

☎097-5334-9507

県職員(獣医師)採用選考

受験資格等の詳細は、県庁受付等で配布又は県庁のホームページにも掲載して

いる選考要領で確認して下さい。

▼日時 1月26日(土)

▼受付期限 1月7日(月)

▼問合せ 県総務部

☎097-506-2305

県立盲学校幼稚部入学者募集

出願関係書類は1月21日(月)から県立盲学校事務室において交付します。詳細は、県立盲学校教頭にお問い合わせ下さい。

▼募集対象

○両眼の視力がおおむね0.3未満の方又は視力以外の視機能障がいが高く高度な方で拡大鏡等の使用によっても文字等の視覚による認識が困難な方。

○視覚障がいのほか、他の障がい併せ有する方。

○平成19年4月2日から平成22年4月1日までに生まれた幼児で、県内に在住する方。

▼入学希望者面談

2月18日(月)～28日(木)の間の1時間程度

▼出願受付期間

2月4日(月)～15日(金)

▼合格発表 3月1日(金)

▼問合せ 県立盲学校

☎097-5332-2638

県立聾学校幼稚部入学者募集

出願関係書類は1月21日(月)から県立聾学校事務室において交付します。交付時間9時～16時。土曜日、日曜日及び祝日は除きます。詳細は、県立聾学校教頭にお問い合わせ下さい。

▼募集対象

○両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上の方のうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な方。

○平成19年4月2日から平成22年4月1日までに生まれた幼児で、県内に在住する方。

▼受付期間

2月4日(月)～15日(金)

▼日時 3月24日(日)～4月5日(金)9～12日間

*事業により異なる。

▼場所 米国・英国・豪州・カナダ・ニュージーランド・カンボジア・フィジー

▼対象 小3～高3

*事業により異なる。

▼説明会

全国12都市、1月下旬

*入場無料・予約不要。

▼参加費

29万8千～43万8千円(共通経費は別途)

*1月28日(月)までにお申込の方は、早割りで1万円割引いたします。

▼締切 2月4日(月)

▼問合せ

国際青少年研修協会

☎03-6459-4661

放送大学4月生募集

放送大学では、平成25年度第1学期の学生を募集しています。放送大学はテレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学

小学生～高校生のための春休み海外派遣

▼提出・問合せ 県立聾学校

☎097-543-2047

FAX 097-546-2111

小学生～高校生のための春休み海外派遣

▼提出・問合せ 県立聾学校

☎097-543-2047

FAX 097-546-2111

小学生～高校生のための春休み海外派遣

▼提出・問合せ 県立聾学校

☎097-543-2047

FAX 097-546-2111

小学生～高校生のための春休み海外派遣

長年の悩み
そのままにして
いませんか?

肩



腰



膝



患者さんを、スタッフを、日出町を元気に！
身体だけでなく、心から元気な体を作っていく治療院を目指します！
日出町から元気の輪を広げていけるよう心を込めて治療していきます！



げんきや
各種保険使えます。
元気家整骨院



診療時間
平日・土曜/9:00~12:30・15:30~20:00
日曜/9:00~15:00 水曜/午後休診 木曜・祭日/休診

土日も診療します

大分県速見郡日出町3888-5 (日出オレンジcom横ホームワイド前)
TEL&FAX 0977-75-8765

等、幅広い分野を学べます。

▼オープンキャンパス

2月10日(日)・16日(土)

▼出願期限 2月28日(木)

▼資料請求・問合せ

放送大学大分学習センター

☎097-549-6612

講座

子育て支援UPプログラム

「パソコン講座」

年齢・性別は問いません。有料託児あります。

「画像遊び(ペイント)講座」

▼日時

2月1・8・15・22日

10時～12時(毎週金曜)

▼場所

HIITコミュニケーションセンター

▼受講料 3000円

【無料IT講座】

▼日時

2月7・14・21・28日

13時～15時(毎週木曜)

▼場所

町保健福祉センター

▼募集期限 1月18日(金)

▼申込・問合せ

パワーウェーブ日出

☎75-8637

相談

無料行政相談会

様々な問題を抱えている市民の皆様との相談窓口の1つとして、毎月第3水曜(祝日の場合は翌日)に開催しています。

▼日時

1月16日(水) 13時～16時

▼場所 県行政書士会

▼相談内容

遺言・成年後見相談・不動産関連・内容証明・各種許可申請・その他

▼問合せ

県行政書士会事務局

☎097-537-7089

境界トラブル休日無料相談所

▼日時

1月20日(日) 10時～15時

▼場所

大分地方法務局杵築支局

▼担当者

法務局職員、土地家屋調査士

▼問合せ

大分地方法務局杵築支局

☎0978-62-2271

その他

別府速見地域広域市町村圏事務組合入札参加資格申請の受付

提出書類及び提出方法等の詳細については、1月4日(金)から別府速見地域広域市町村圏事務組合窓口や別府速見地域広域市町村圏事務組合の公式ホームページに掲載します。

▼受付期間

2月1日(金)～28日(木)

*郵送は2月28日必着。

▼業種

物品、施設管理、建設工事、コンサルタント

▼申請条件

別府市の入札参加申請条件に準じます。

▼問合せ

別府速見地域広域市町村圏事務組合

☎21-1126

みのり村作品展

みのり村利用者の方々のクラブ活動の発表会です。絵画、書道、陶芸、はたおり等。地域の皆さんにも見て

高年齢者雇用安定法改正

急速な高齢化の進行に対応し、高年齢者が少なくとも年金受給開始までは意欲と能力に応じて働き続けられる環境の整備を目的と

いただきました。今回から日出町でも開催することになりました。

▼日時

2月7日(木)～13日(水)

9時～17時

▼場所 日出町二の丸館

▼問合せ みのり村

☎0978-62-2276

奇跡の一本松保存募金

7万本の松原からたった一本、津波に耐えた一本松。私たちに希望を与えてくれた一本松は、もはや自立ができませんが、復興の象徴として新しい形で残していきたいのです。皆さんの協力をお願いします。

岩手県陸前高田市長

鳥羽太

▼問合せ

陸前高田市都市計画課

☎0192-54-2111

一般歯科・矯正歯科・小児歯科

山下歯科医院

YAMASHITA DENTAL



場所: 陽谷駅前、サンライズ酒井病院よこ



診療時間

平日: 9:00～13:00 / 14:30～19:00
土: 9:00～13:00 / 14:30～18:00
休日: 木・日・祝

速見郡日出町3184番地 TEL.0977-28-0058

B&A 矯正歯科クリニック

- 子どもや大人の歯並び・かみ合わせの治療専門 -

月・水～土曜日 10:00～19:00 休診日: 火曜日・祝日
日曜日 10:00～17:00

別府市南立石一区2組

★別府ICより杉乃井ホテル方面へ、車で約5分
★国道10号より富士見通りを杉乃井ホテル方面へ
ローソンもみじ坂店となり

歯並び・かみ合わせのご相談は

TEL: **0977-26-3321** まで



検索 B&A 矯正歯科

して「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部が改正され、4月1日から施行されます。今回の改正のポイントは、定年に達した方を引き続き雇用する「継続雇用制度」の対象者を、労使協定で限定できる仕組みの廃止等を内容としています。

明は、裁判所ウェブサイトで見る事ができます。

▼問合先

大分地方裁判所事務局
097-532-7161

確定申告に関するご相談は電話相談センター「0番へ！熊本国税局では1月21日(月)から3月15日(金)までの期間、確定申告電話相談センター」を開設し、所得税、消費税及び贈与税の確定申告に関するご相談等に電話でお答えしています。最寄りの税務署の代表電話におかけいただくと、自動音声案内によりご案内します。で、「0」番を選択し、用件をお話し下さい。申告会場や受付時間等はオペレーターがお答えするほか、内容等により、電話を転送し、職員等がお答えします。

▼問合先 大分労働局

097-535-2090

債務を整理するための裁判所の手続きについて

個人である債務者の借金や購入代金等の支払義務が増えたり、何らかの事情で収入が減ったりして、債務者(支払先)に約束どおり支払いが出来ない場合に、債務を整理し、生活を立て直すため、特定調停、個人再生、破産の手続き等があります。

今後とも支払いを続けることができるか、話し合いで解決できるか等の事情により手続を選択することが出来ます。

特定調停、個人再生及び破産の各手続きに関する説

お誕生おめでとう

() 内は保護者名・地区名

▼問合先 別府税務署
23-2111

- 原田光^コ優愛^マ(泰光 中の三)
- 下門奏太^カ(智之 中の三)
- 吉田芽生^イ(拓司 辻間団地西)
- 中野陽菜^ナ(真一 日出本町)
- 三好清一郎^チ(太郎 日出中央)
- 目代真奈美^メ(憲治郎 西八日市)
- 西宮縉^セ(智之 佐尾)
- 太田悠飛^ユ(剛雄 佐尾)
- 土居志誠^シ(雅典 上仁王)
- 千歳丸莉々^リ(忠 上仁王)
- 清水紗和子^サ(太将 東仁王)
- 大久保希良^キ(正信 東部)
- 石田夢来^ム(歩 南部)
- 小石のどか^カ(誠 南部)
- 工藤海惺^{セイ}(健悟 西部)
- 宮崎珠希^キ(祐二 則次)
- 大鶴琉偉^{エイ}(真也 西小深江)
- 魚返零^{セイ}(雅之 内野)
- 上野暖和^ワ(新悟 上深江)
- 佐藤慧稀^キ(清弘 軒の井)
- 鈴木泰史^シ(恵太 片原津)

- 菅和子^コ(72 西の二)
 - 松岡俊郎^ロ(82 日出団地)
 - 山口シズ子^コ(65 東部)
 - 河合貞雄^ユ(94 南部)
 - 上野優^ユ(67 南部)
 - 利光厚志^シ(53 中部)
 - 梶原秀毅^キ(61 辻の尾)
 - 垣迫フサエ^エ(94 後村)
 - 工藤次子^コ(93 中村)
 - 市川昭一郎^ロ(79 上深江)
 - 伊豆田信夫^フ(80 牧の内)
- *11月届出分(敬称略)
- ―9月届出分に掲載漏れがありました。改めて掲載させていただきます。
- 渡邊ナミエ(99 北大神)

眞福をお祈りいたします

() 内は行年・地区名

第13回 あったかチャンコ チャリティーショー

日程: 2月17日(日)
時間: 12時30分~16時(12時開場)
場所: 中央公民館
チャリティー券1枚300円(当日券あり)※チャリティー券は、実行委員会で取り扱っています。

障がい者施設・団体作品展即売会も同時開催。真心のこもった品々です。是非お手にとってご覧ください。

問合先

あったかチャンコチャリティーショー 実行委員会
090-8830-7683(山本)

腎臓内科 循環器科 内科 血液透析

こうまつ 循環器科 クリニック

医療法人 泰晋会 日本循環器学会認定 循環器専門医 医学博士 院長 幸松晃正

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	●	●	●	●

休診日: 日曜・祝日

速見郡日出町3852番地6ベスト電器前
TEL(0977) 73-0077
http://koumatu.or.jp/

消化器科・肛門科・外科・内科
泌尿器科・人工透析・リハビリテーション科

医療法人 久寿会 **鈴木病院**

速見郡日出町3904番6
TEL(代) 0977-73-2131

すずらんクリニック
介護施設すずらん
速見郡日出町藤原1691番地1
TEL(代) 0977-73-2151

http://www.suzuki-hp.or.jp

町民文芸

豊岡 赤山 くら
春野菜の種を播かむと畑を打
つつるべ落ししの夕光を背に

大神 北野ヤスエ
蔓長き草の根引けば蟻の巣が
崩れてアリの子「わっ」と湧
き出る

川崎 藤田 和子
忘れたい日はほどはつきり覚え
てる色も匂いも人の言葉も

藤原 村岡 祥子
なかなか朝霧晴れずいただ
きに黒子のごとき木々現るる

内野 濱本紀代子
冬堂は澄める未完のパズルなり私の
ピースで投票とせむ

日出 永松美知子
お通路の肩に重たき初時雨
広々と風を遊ばす枯野かな

日出 大野 仁王
うっすらと初霜降りている畑
古里の母居ぬ家に掃たわわ

豊岡 坪田 京子
飼ひ猫と共に見惚れる冬の月
年の暮妻のやりくり四苦八苦

契約トラブルなどの相談は 消費生活相談窓口へ

町では毎週月曜日(休日の場合は翌火曜日)に、専門知識を持った消費生活相談員が「消費生活相談」を実施しています。

悪質商法による契約トラブルなど、消費生活に関する様々な相談を受け付け、解決のためのアドバイスを行っています。是非ご活用ください。

■問合先
総務課行政係 ☎73-3150

日出町コミュニティバスからのお知らせ

冬季期間は、積雪等により急きょ運行を休止する場合があります。運行休止の情報は、日出町ホームページをご覧ください。 ☎73-3116

日建学院 **開講案内**
別府校開設(移転)!!
 建設不動産関連の資格講座で定評の日建学
パソコン教室 新設
 (新卒予定者 キャンペーン、キッズ～シニアまで)
 (注)平成25年3月建設訓練助成金廃止!
 詳しくは <http://www.nikken-beppu.com> 検索
お問い合わせ(電話)0977-80-6013

食について考える講演会 麴文化に学ぶ食生活 ～安全な食生活を次世代へ～

大分県・大分県消費者団体連絡協議会の主催で地域消費者フォーラムが開催されます。

講師は塩麴の使用法や弱点などを取り上げたテレビ番組の制作協力も行う別府大学 食物栄養学部教授 岡本啓湖氏です。

参加費無料ですので、ふるってご参加ください。

- テーマ 麴文化に学ぶ食生活～安全な食生活を次世代へ～
- 講師 別府大学 食物栄養学部教授 岡本啓湖氏
- 日時 1月22日(火)10時～12時
- 場所 中央公民館 ホール

■問合先 総務課 ☎73-3150

日出中央医院
診療科目 内科 外科(ペインクリニック)
 胃腸内科 疼痛緩和内科 麻酔科
 院長 佐登 宣仁 顧問 大西詔治
入院施設有

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後2:00～5:30	○	○	往診	○	○	4:00	/
夜間5:30～7:00	/	○	/	/	/	/	/

夜間診療・訪問診療有 ☎0977-72-2534

リフォーム・新築工事 既存建物の耐震化工事行います



仲良く 楽しく 誠実に
 有限会社 **樋口建設**
 樋口 浩 一級建築士事務所
 一級施工管理技士、木造住宅耐震診断士

日出町 3408-2(産業道路入口) ☎72-8486
<http://www.higuchiy.com> FAX 72-9595

地域の行事を伝えて残す

できるうちに、教えとかんと

No. 34

輝くひじ人

原山ボランティアクラブ副会長

佐藤 秀光さん (77)
(大神 原山)

昨年のかせどりの様子

12月中旬、真っ暗な住宅街の一角、倉庫の外灯の下で藁を打つ4～5人の男性。倉庫の右手にある原山公民館の中では20数名の原山ボランティアクラブのメンバーが青々とした藁を束ね、米俵や地域の伝統行事「かせどり」で使う「大足半」作りに励んでいました。

江戸後期から伝わる「かせどり」は、その年に生まれた子供の家に大足半と呼ばれる大きな藁草履を届ける新年の行事で「この草履がはけるくらい立派に大きく成長するように」との願いが込められています。

戦後、この行事は一時途絶えていましたが、およそ60年前に作られた大足半が松本伊勢松さん(92)の倉庫で見つけたことをきっかけに、伝統を残し地域を元気づけようと「かせどり」が復活して12年が経ちます。

行事に欠かせない大足半を作ることができる人は現在1人しかいません。

復活当初から大足半を作る佐



藤秀光さんは松本さんの甥にあたり、見つかった大足半を作る祖父を手伝った経験があるそうです。「中学くらいん時、じいちゃんが作りよんのを加勢したんじゃ」。おじの松本さんに作り方を教わり、昔の記憶を頼りに大足半を作り始めました。「年に1回しかせんけん、忘れる。年も年やけん、若けえ人に、はよ覚えちもらわんと」。佐藤さんは作り方を伝えるため、自分では作業をせず、コツや力の入れ具合を指示します。

「はい、そこ切って」、「強く縋って」。長さ70cmの大足半を作るのに6人がかりで、時には、佐藤さんが実際に作業してみせます。

高齢化が進むボランティアクラブですが、次第にメンバーも増え、今年は50代の男性も加入し、徐々に作り方を覚える人の数も増えてきました。

「初めてでこれなら、上出来じゃろ！」最後の調整をしながら「みんなができるようになってくると嬉しいな。でも、子供が生まれなお祝いもできんけん」と手直しをする手を休めることなく言いました。

「地域の伝統を守ってくれる若い人と子供たち」佐藤さんは、そのことをよく考えるそうです。

1月13日の本番には、2件のお宅に出来上がった大足半が届けられます。

1月13日の本番には、2件のお宅に出来上がった大足半が届けられます。

日出町の人のうごき

平成24年12月1日現在の
住民基本台帳の登録人口

世帯数	11,840 (- 5)	+120
人口	28,888 (- 20)	+ 98
男	13,821 (- 24)	+ 44
女	15,067 (+ 4)	+ 54
南端	320 (- 2)	
豊岡	7,308 (- 12)	
日出	5,947 (- 1)	
藤原	3,910 (- 11)	
川崎	5,931 (+ 2)	
大神	5,472 (+ 4)	

() 内は前月比

□ 内は今年4月1日比